

手芸用

ふんわりふっくら 富岡産 上州座繰り絹糸



この絹糸は“富岡製糸場のあるまち”
富岡市の養蚕農家が丹精込めて
生産した繭からできています。

手編み、手織り、刺繍、クラフトなどに活用
できる**富岡シルク100%**の手芸用絹糸です。

古来からの絹産地、群馬・上州の伝統繰糸
“**上州座繰り**”という製法で丁寧に
繭から生糸に引き上げました。

***** 上州座繰り絹糸の特徴 *****

- **ふんわり**と軽く空気を含み、艶やかで柔らかな風合い。
- 通常の生糸の300倍、絹糸の15倍の太さがあり、
とても**扱い易く**なっています。
- 繭玉のもつ自然なままの“**生成り色**”
- 草木染などの**染色可能**な絹糸
- 絹糸にはフィラメントと呼ばれる**長繊維**（繭玉から
引き出される切れ目のない**細く長い**）絹糸と、
シルクを綿状にして紡績した**短繊維**の絹糸（絹紡糸）の
2種類があります。
本絹糸は『正絹』と呼ばれる**長繊維の絹糸**です。
- お取り扱いには、必ず中性洗剤をご使用ください。
シルクの特性上、紫外線等により経年とともに
黄変します。

- ◇太さ：約900デニール
- ◇重さ：約60g
- ◇長さ：約630m
- ◇目安：糸の『極細～中細』くらい

※特記事項

座繰り絹糸は天然繊維ですので
総（カセ）により、太さ、重さ、色等
多少バラツキがありますがご了承ください。



※参考

ニットカギ針3号にて
約ストール1枚が編めます。

この絹糸は、**日本の養蚕応援プロジェクト**
として、日本のシルクの素晴らしさを
より身近に感じていただきたく製作しました。

皆様のお手元でご愛用いただけますことを
心より感謝申し上げます。

お気づきの点等ございましたら下記までご連絡ください。



富岡シルクブランド協議会

〒370-2316 群馬県富岡市富岡33-4

TEL 0274-67-7355

Mail: tomiokasilk@tomioka-silkbrand.jp

← (裏面) 糸口の見つけ方

総（かせ）の糸口の見つけ方

① 総（かせ）の中央に手を入れ、糸のねじりを直す。



② 糸を均等に直線になるように整える。



④ ここが糸口です

“あみそ”の糸と本体の糸がつながっています。



③ “あみそ”が平らになるように整える。（3カ所あります。）

“あみそ”を平らに、糸のよじれを整えるとスムーズに絡まることなく巻き取れます。

※ “あみそ”とは糸と糸が絡まないように通した横糸のこと。

※ 3カ所ある“あみそ”は巻き上げる時にカットします。